



雪が積もらなくてもコンクリートやブロックが凍っていることがあります。また、横断歩道も白い線のところが滑ることがあります。

注意して歩くように声がけをしています。

ああ、いいな、清々するな 雪が積もった日、子ども達は ～朝の会話、遠くからのあいさつ、雪かき～

12月7日(水)は前日から降った雪が積もっていました。「寒いですが、気持ちいいですね。」にっこりしながら「はい!」の返事。丁度この日は弁当の日。子ども達は、弁当を手に登校してきます。

玄関の方を見ると、用務員の竹高さんを手伝って何人かの子が雪かきを始めています。6年生もいます。3年生もいます。うれしいことです。

遠くから「おはようございまーす!」とあいさつをして

くれる子がいます。最近、「あいさつの声が小さくなってきたかな?」と先生方と話していましたが、この遠くからのあいさつに、とてもすがすがしい気持ちにしてもらいました。

「ああ、気持ちのいい朝だな」と思って校門のところで空を見上げると空が青く澄んでいました。思わず「ああ、いいな、せいせいするな」と言葉が口をついて出ました。

玄関に戻ると、玄関前では、たくさんの子が雪かきをしていました。1年生や2年生も。その景色がうれしくて「ああ、いいな、せいせいするな。」また、言葉が出ました。



雲の信号 宮沢賢治

あゝいゝな せいせいするな
 風が吹くし
 農具はぴかぴか光つてゐるし
 山はぼんやり
 岩頸(がんけい)だつて岩鐘(がんしよう)だつて
 みんな時間のないころのゆめをみてゐるのだ

:

農作業の合間の昼下がりでしょうか。風に吹かれて気持ちよく、遠くには山が見え、きっと空は青く澄んでいるのではいかと想像します。詩を読んでいる季節は春なのでしょうが、あまりの気持ちよさからこの詩のフレーズを思い浮かべたのでした。

海洋「子どもサミット」

～オンラインで全国の学校とつながって～

1月25日に海洋の「子どもサミット」が開かれました。気仙沼市が中心になってサミットが開かれました。自分達が勉強してきたことを発表したり質問をしたりしてさらに勉強を深めます。洋野町はもとより、青森県、宮城県、福島県、山形県、・・・と全国の海洋を学習している学校が参加します。小学校だけでなく中学校、高校（洋野町からは種市高校）、大学（大学は東大が参加しています）が参加しています。コロナ前は、実際に集まってのサミットでしたがここ3年はオンラインでの中継で行っています。

種市小学校からは、6年生が参加し、代表のグループがけ、画面に向かって話し合いをします。また、代表以外の6年生も、かがやきホールに集まって、画面を見ながらサミットの様子を見守っていました。



↑ 代表のグループが画面に向かって話しています。



← 他の6年生も画面越しに、小菅先生の説明を聞きながらサミットの様子を見守っています。

冬の備え

衣服の調節、防寒着

冬休みまで2週間となりました。寒い日もあります。そんな中、子ども達を見ていて服装が気になります。防寒着を着ていない子、厚手の服を着ているものその下はシャツ1枚とか、何も着ていないとか。また、帽子や手袋を身につけている子もいれば、寒そうにポケットに手を入れて歩いている子も。手袋は寒さ除けだけでなく転んだ時のケガ予防にもなります。冬の地面は固く、凍っていれば手も切ります。子ども達にはそんな経験も少ないのかもしれませんが、それなら、教えてあげたいです。

加えてお伝えすると、ズックのかかとを踏んづけてズックがつぶれている子はいないでしょうか。校内で見かけたときに注意すると素直に直します。ものを大事にするという意味ときちんと履くという習慣の意味で、おうちでも教えてあげたいです。子どもの服や履物など身につけるものがどうなっているか、今一度見てあげていただきたくお願いします。

鶏舞の烏帽子をお預かりしました

滝沢鶏舞保存会さんから鶏舞の烏帽子をお預かりしています。これまでも主に3年生が「総合的な学習の時間」や社会の地域学習で学習してきました。歴史を調べたり実際に踊りを習ったり。今年度は学習発表会で劇の中に取り入れて発表することができました。その保存会さんから、

「子ども達の目に触れさせてもらえれば」と烏帽子を学校に預けてくださったのでした。学校としても地域に伝わる伝統芸能を大切にしていきたいと考えますので、ありがたくお預かりすることにしました。以前は、城内小・中学校の校長室にも飾ってあったそうです。

本校では、一番人が通る「マリンホール」に飾ることにしました。丁度、南奎雲先生の「書」のところにしました。

※飾って気がつきました。そういえば、南先生も城内・滝沢地区のご出身でした。

